

2025年6月10日（火）

「適切な関わり方とは何か」 ワークシート

令和7年度特定教育・保育施設向けの集団指導説明会
流山市生涯学習センター



考えてみましょう

言い換えのワーク

point

- こどもを主体に考えて
こどもにどうしてもらえると良いのかを考えてみましょう

言い換えてみましょう 1

- ①走らないで
- ②登らないで
- ③何度いったらわかるの？
- ④うるさい
- ⑤よそ見しないの
- ⑥叩いちゃだめでしょう
- ⑦そっち行かないで
- ⑧遅い！早くして！
- ⑨そんな風に持ったらこぼれるよ
- ⑩ふざけないで
- ⑪いい加減にきなさい
- ⑫あいだ開けないで歩いて
- ⑬そんなこともできないの？

言い換えてみましょう 2

- ①片付けしないと怒るよ
- ②手洗いでできないならご飯は出せないよ
- ③ちゃんと座れないなら絵本は読めないよ
- ④お友達を叩くなら、赤ちゃん組に行きなさい！
- ⑤コップで遊んじゃう子は先生がもらっちゃうね！
- ⑥（着替えない子に）この服は先生がもらっちゃうよ
- ⑦話を聞かない子はこのクラスにいません
- ⑧静かにしないと事務室に行くよ！
- ⑨支度出来ない子は、小学生になれません

回答例 1

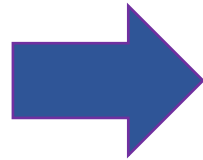
- ①走らないで
- ②登らないで
- ③何度いったらわかるの？
- ④うるさい
- ⑤よそ見しないの
- ⑥叩いちゃだめでしょう
- ⑦そっち行かないで
- ⑧遅い！早くして！
- ⑨そんな風に持ったらこぼれるよ
- ⑩ふざけないで
- ⑪いい加減にきなさい
- ⑫あいだ開けないで歩いて
- ⑬そんなこともできないの？



- ①歩こうね
- ②降りようね
- ③こうしよう。何かあった？
- ④小さな声でお話ししてね、しーだよ
- ⑤先生の方（顔、目）を見てほしいな
- ⑥嫌だったね。嫌なときは先生に話して
- ⑦ここに座ってー
- ⑧頑張ってやってみよう！よーいドンだよ
- ⑨両手で持とうね、こうもつと良いよ
- ⑩お話するから聞いてね
- ⑪こうしてほしいんだ、できる？
- ⑫前の子にくっついて歩こーね
- ⑬どうやったら出来るかな？こうやってみよう

回答例 2

- ①片付けしないと怒るよ
- ②手洗いでできないならご飯は出せないよ
- ③ちゃんと座れないなら絵本は読めないよ
- ④お友達を叩くなら、赤ちゃん組に行きなさい！
- ⑤コップで遊んじゃう子は先生がもらっちゃうね！
- ⑥（着替ええない子に）この服は先生がもらっちゃうよ
- ⑦話を聞かない子はこのクラスにいません
- ⑧静かにしないと事務室に行くよ！
- ⑨支度出来ない子は、小学生になれません



- ①なくならないように片付けよう
- ②ばい菌が付いているとお腹いたくなるから洗おう
- ③みんなに見えるようにしてあげようよ。座って
- ④〇〇が嫌だったのかな？嫌な気持ちになるよね。お話してみようか。
- ⑤落とすと大事なコップ壊れちゃうよ。置いてね
- ⑥風邪ひくよ（体操しよう等目的）着替えよう
- ⑦聞いてないとわからないからお話聞いてね
- ⑧みんなにも聞こえるように静かに聞いてみよう
- ⑨〇〇がなくならないように準備しよう
できたね！お兄ちゃんになれるね！

配慮の実際 ADHDの場合

不注意

気が散りやすい
興味ないことや
意欲がわからないことは
注意が続きません

衝動性

待つことや我慢する事
が苦手です

多動性

落ち着きがなくじっとして
られない

- 脳の機能の話なので なおる なおらない という話ではありません
- それに気づいている子どもも多く、自分自身でコントロールできないものかしさに悩んでいる事が多いです 自己肯定感が下がりがちです

⇒二次障害が起こる悪循環になりがち

- うまく付き合うのには、冷静な対処方法の獲得とほめ上手になること
- 感情的にならず、気持ちを理解して受けとめる事が大切です

対応のポイント ADHDの場合

- ・感情的に叱らず、理由を説明する
- ・毎日の日課やルールを決め、それを予定通りこなしたり、守れた事で「出来た！」、「できるじゃん！」の経験を増やす
- ・いきなり全てを要求せず、簡単なことから少しずつ取り組む
- ・忘れても、思い出して行動できる仕組みをつくる
(貼紙・チェックリスト・メモ)
- ・出来たら褒める、やる気を引き出す声掛けをする、ご褒美も

配慮の実際 自閉スペクトラム症の場合

コミュニケーションと
相互交流の困難

- ・言葉を互いにやり取りしたり、関心や気持ちの共有が難しい
- ・視線・表情・ジェスチャーなどによる互いにやり取りが難しい
- ・ごっこ遊び、友達関係の構築が難しい

こだわりの強さと感覚への反応

- ・同一の行動を繰り返す
- ・変化を嫌う
- ・特定のものへ強い関心を示す
- ・特定の感覚に過敏（または鈍感）で、その感覚にこだわる

発語の遅れが目立たない
アスペルガー症候群を含みます

自閉症のおよそ70%が
知的な遅れを伴います

軽ければ生活が楽かという
とそうではありません
周囲に存在を気づかれない
問題もあります（カモフラージュという概念もあります）

対応のポイント 自閉スペクトラム症の場合

- 頭ごなしにしない
- 嫌な音がしないなど、その子が落ち着ける状態で話をする
- 短い言葉で具体的に示す
- 指示はひとつずつ伝える
- 言葉で伝わらなければ、視覚で伝える
- あらかじめ終わりの時間を伝えるなど、先の見通しをもたせる
- やりたいことを無理に取り上げず、「〇回だけね」と約束する

こどもと良い関係を築くために

すぐに上級者にはなりません。地道に力をつけていきましょう

1. こどもの行動をよく観察しましょう
2. こどもの話にしっかりと耳を傾けましょう
3. こどもへの伝え方には工夫が必要です
4. ほめ上手になりましょう
5. 取り組みはスモールステップで
6. 無理強いは禁物です
7. 叱る前のひと呼吸 保育者の感情コントロールも大切です
8. 保育者が一緒に取り組む機会をつくりましょう

褒め上手になろう 十か条

1. 具体的に褒める
2. 抽象的に褒める
3. すぐに褒める
4. 「これは！」と思う事を、いつまでもしみじみ褒める
5. 理由をつけて褒める
6. 理由なしに褒める
7. 褒め言葉のバリエーションを増やす
8. 感謝の言葉も誉め言葉である
9. 第三者も褒めていたと伝える
10. その人の気持ちを汲んで褒める

引用：「親力」できる子どもを伸ばすために親が出来ること